

受験番号:29IPCN015

【問1】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象を感応探知し、探知結果に応じて制御信号を出力するための感応モジュールと、
前記感応モジュールによって出力された制御信号に基づき、異なる出力端を介して少なくとも2つの照明信号の送信を個別に制御するための制御モジュールと、
を含み、
前記照明信号の送信は、
前記感応モジュールが制御信号を出力する場合、少なくとも2つの前記照明信号を同時に送信する規則と、
前記感応モジュールが制御信号を出力しない場合、少なくとも1つの前記照明信号は制御モジュールによって出力されず、且つ、出力された複数の前記照明信号の配列は、前回に前記感応モジュールが制御信号を出力しなかった場合に出力された複数の前記照明信号の配列と異なる規則と、
に従わなければならないことを特徴とする照明システム。

【請求項2】

前記制御モジュールは、
入力端を介して、前記感応モジュールによって出力された制御信号を受信し、出力端を介して前記照明信号を出力するためのマイクロプログラムコントローラと、
前記マイクロプログラムコントローラが、前記感応モジュールによって出力された制御信号に基づき前記照明信号を制御するプログラムを記憶するためのメモリと、
を含むこと特徴とする請求項1に記載の照明システム。

【問2】

【背景技術】

排気ガス排出規制のアップグレードに伴い、排出要件を満たすために、アクティブオイルセパレータが使用されているV型エンジンはますます多くなっている。アクティブオイルセパレータが使用されているV型エンジンにおいて、配置の小型化を図るために、オイルセパレータをV字角度内に配置することは非常に好ましいやり方である。

しかしながら、既存のアクティブオイルセパレータ台座は、ほとんど側面固定の形態であり、ボルトでエンジンボディの側面に締着され、且つオイルパイプを介して外部の駆動オイルと連通する方式でオイルセパレータ駆動装置に接続されている。この構成のオイルセパレータアセンブリは、エンジン外側での配置により適しており、V型エンジン内部での配置に適していない。また、オイルセパレータの駆動オイルは全て、単一のオイルパイプで連通されているため、コストが高く且つ外

観が悪くなり、故障やオイル漏れのリスクも高い。

【問3】

【発明を実施するための形態】

図1は、本発明のFPC無電解ニッケル/置換金めっきの方法のフローチャートである。

本発明の目的、技術方案及び効果をより明瞭且つ明確にするために、以下、添付図面を参照しながら実施例を挙げて本発明をさらに詳細に説明する。

図1を参照すると、図1は、本発明のFPC無電解ニッケル/置換金めっきの方法のフローチャートである。図示のように、上記FPC無電解ニッケル/置換金めっきの方法は、以下のステップを含む。

S1: FPCをニッケル浴タンク及び金浴タンクに浸漬し、FPCに対して1回目のニッケル/置換金めっき処理を行う;

S2: FPCを取り出し、ドライフィルムで非置換金めっき領域、又は金層の厚さが要件を満たしたパッドを被覆する;

S3: ドライフィルムで被覆されているFPCに対して現像処理を行う;

S4: 処理されたFPCを再び金浴タンクに浸漬し、2回目の置換金めっき処理を行い、所望の置換金の厚さ要件に従って置換金めっきの時間を調整する。